

第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成20年11月13日(木)5校時

場 所 3年1組教室

学 級 3年1組(男子14名 女子15名 計29名)

授業者 教諭 千葉 知恵子

1 単元名 Unit6 20th Century Great (New Horizon English Course3)

2 単元について

(1)教材観

20世紀の偉人についての単元である。その中でも科学者であるレイチェル・カーソンに主眼となっている。レイチェル・カーソンは20世紀を代表する科学者で、環境問題の草分け的存在である。「沈黙の春」を著し、農薬の危険性を訴えた人物である。S.Oでは5人の偉人を取り上げ、Dialogではその中の一人レイチェル・カーソンを話題にしている。RFCではそのレイチェル・カーソンの生涯と業績を簡単に紹介している。文法事項は接触節や関係代名詞などの後置修飾について学習する。すでに前の単元では現在分詞や過去分詞による後置修飾を学習しており、本単元でそのまとめとなる。修飾語が被修飾語よりも前に来る日本語とは違い、英語の場合はその多くが後ろに置かれる。語順の違いについては今までも学習してきたはいるが、その多様性について戸惑うところも少なくはない。文で修飾する接触節や先行詞によって異なる関係代名詞など様々な用法を学ぶことによって表現力をつけるためにこの単元を設定した。

(2)生徒観

男女問わず話しをすることができ、明るい雰囲気で生活している。諸行事には前向きに取り組み、お互いに尊重しあえる雰囲気もある。英語授業においては、教科書の音読には大きな声で積極的に取り組むが文字と音が結びつかなかったり、基礎・基本が身につけていなかったりするため、50分の授業にもなかなか集中できない生徒も多い。理解の差が大きいため、英語授業そのものに意欲を示さない生徒も少なくない。文法事項を定着させるときもひとつの活動に集中できる時間が限られているため、様々な活動を組み立てる必要がある。

4月に行ったNRT結果は次のようになっている。

内容	本校正答率	全国正答率	全国比
聞くこと	51,3	62,5	82
話すこと	50,1	61,5	81
読むこと	53,7	66,7	81
書くこと	35,1	53,1	67

どの領域も全国比を大きく下回っており、普段の授業においても発展的な学習をするというよりはむしろ基礎基本をいかに定着させるかに重点をおいている。中でも長文を読むことに嫌気をさしている生徒が多く、英文を見ただけでやる気を失う生徒も多い。

(3)指導観

本時は RFC の 2 時間目である。すでに関係代名詞については既習である。今までの文法事項を用いて、いかに教科書の本文を効率よく読むことができるかに重点を置く。近年の高校入試においても長文問題の占める割合が高く、生徒達がいかに長文の内容を短時間で把握できる力をつけなければならない。そのためにも全文を読むのではなく、まずは内容語のみを読み、概要を把握させたい。その後で形容詞や副詞を入れて内容をより深く理解し、最後に全文を読むことで英文そのものを味わわせたい。

本文理解では本文を 3 段階に分けたプリントを使うことで生徒の理解を手助けし、また英文を味わう段階では音読に力を入れて取り組ませたい。とくに英語は気持ちや事実を伝える手段なので、常に相手を意識することができるよう、ペアを取り入れた練習を積極的に行う。

3 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・英文の内容を読み取ろうとして熱心に聞いたり読んだりする。

【表現の能力】

- ・接触節や関係代名詞を理解し、表現することができる。
- ・文献から得た情報をもとにレポートにまとめることができる。

【理解の能力】

- ・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・生い立ちや業績など必要な情報を正しく読み取ることができる。

4 単元の指導計画と評価規準

学習活動	時間	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての理解・知識
20 th Greats Starting Out 接触節	2		・接触節を用いた文を正しく書いたり、話したりすることができる。	・本文の内容を理解することができる。	
Dialog 関係代名詞 who	2		・関係代名詞 who を用いた英文を聞いたり書いたりすることができる。	・本文（対話）の内容を理解することができる。	
Reading for communication 関係代名詞 that [which] (主格)	2 本 時 2/2	・英文の内容を読み取ろうとして熱心に聞いたり読んだりしている。	・関係代名詞 that [which] (主格) を含む英文を正しく聞いたり書いたりすることができる。	・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。	・カーソンの業績を理解することができる。

Reading for communication 関係代名詞 that [which] (目的格)	2	・英文の内容を読み取ろうとして熱心に聞いたり読んだりしている。	・関係代名詞 that [which] (目的格)を含む英文を正しく書くことができる。	・教科書の本文の内容について、正しく読み取ることができる。	・カーソンの生涯を理解することができる。
Listening plus6 20世紀のスター	1	・必要な情報を得るために関心を持ちながら英文を聞く。		・レポートの内容を正しく聞き取ることができる。	
まとめと学習 後置修飾	1	・間違いを恐れず、伝えたいことを英語で積極的に読んだり書いたりすることができる。	・伝えたい内容を正確な表現を使って表現することができる。	・問題文や例文の意味を正確に読みとることができる。	・後置修飾の形の復習と用法を理解することができる。
Speaking Plus4 電話の会話	1	・教師やCDの英語を聞き、場面の展開で使われている表現を理解し、役割練習に参加することができる。	・話そうとすることを要点を落とさずに聞き手に正確に伝えることができる。	・本文の内容を理解することができる。	・対話の展開や使われている表現を理解して、対話の補充や追加をするのに必要な内容や表現を予想できる。
Multi Plus 4 わたしのスキット作り		・相手の意向を探りながら、不自然な沈黙をせずに話し続けている。	・モデルスキットを音読するだけでなく、自分でスキットを作成し、発表することができる。	・スキットの内容を空所の部分を想像しながら正確に読み取ることができる。	・スキットの展開や使われている表現を理解して、スキットの補充や追加をするのに必要な内容や表現を予想できる。
単元テスト	1				

5 本時の指導

(1)目標

- ・カーソンの業績を理解することができる。
- ・教科書の内容を理解し、音読することができる。

(2)本時の評価

評価規準	具体的評価基準		
	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する生徒への支援
・教科書の内容を理解し、音読することができる。	【読むこと】 教科書の内容を読み取ることができる。 【話すこと】 相手を意識しながら教科書を読むことができる	【読むこと】 ワークシートをもとに教科書の内容を読み取ることができる。 【話すこと】 教科書を読むことができる。	【読むこと】 ヒントをもとに教科書の内容を読み取れるよう支援する。 【話すこと】 教科書を読めるよう支援する。

(3)構想及び個に応じた指導の工夫点

- ・ペア・ワークを多用し、空白の時間を作らないようにする。
- ・学習シートの段階に応じて読み取りの観点を与えることにより、より深く内容を理解する。

(4)本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	○評価【方法】 ☆支援の手立て
10	1 あいさつ 2 Warm-up 3 課題設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">レイチェル・カーソンの業績を読み取ろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の雰囲気を作る。 ・50Q&A を行い、既習事項の確認をする。 	○机間巡視をしながら、適切に応えられているか確認をする。 【観察・机間巡視】
35	4 新出語句の練習 5 内容把握 6 音読	<ul style="list-style-type: none"> ・音→意味の順番で新出語句を確認する。 ・DVD を用いて、本文理解の手助けとする。 ・学習シートを3段階に分け、まずは概略をつかませ、それから細部を見て、より深く内容を理解する。 ・個人読み(個々の発音チェック)→一斉読み(教師や CD のあとについて読む)→ペア読み(相手を意識しながら読む)→発表(数名の生徒に指名して発表させる) ・読めるようになった生徒へは暗唱を指示する。 	○教師の真似をしながら、正しく発音しているか。 【観察】 ○学習シートにしたがって、内容を理解しているか。 【学習シート】 ☆C の生徒への支援 DVD の内容や学習シートのやりかたに解説を加える。 ○内容を理解した上で音読できているか。 【机間巡視・発表】 ☆C の生徒への支援 個人読みの段階で教科書のわからない単語を確認し、読めるように指導する。
5	7 まとめ 8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文に関する Q&A を行い、まとめとする。 ・教科書の内容を復習し、次時へのつながりを持たせる。 	○英文英答ができているか。 【観察・学習シート・発表】